

# 履歴書・業績書等の作成上の注意事項

## 1. 履歴書

### 1. 記入にあたって

- (1) 年の表記は西暦で記入して下さい。
- (2) 記入する事柄がない場合は『該当なし』と記入して下さい。
- (3) 記入スペースが足りない場合や同項目内でページがまたがる場合は、適宜、改行、行の高さの調整等を行って下さい。

### 2. 写真

「写真貼付」欄に証明書用の顔写真（白黒可）を貼付して下さい。

※ スナップ写真の切り抜き、画像の印刷は不可。

### 3. 氏名

「氏名」欄（全ページ）に自署して下さい。また 1 ページ目の氏名欄には押印して下さい。

※ 旧姓の使用を希望する場合は、戸籍上の氏名の後にカッコ書きで旧姓を記入し、押印は戸籍上の姓のものを使用して下さい。

### 4. 生年月日等

年齢は着任予定日（2025年 4月 1日）時点の年齢を記入して下さい。

### 5. 学歴

高等学校もしくは高等専門学校又はこれらと同等と認められる学校の卒業以降の学歴の全てについて、「学校名等」「在学期間（年月）」「卒業・修了・退学等の別」を、入学年月順（過去から現在）に記入して下さい。

(1) 学部、学科、専攻、専修名まで記入して下さい。

※ 在学中に学部等の名称が変更になった場合は卒業・修了・退学等の時点での名称を記入して下さい。

(2) 外国留学について、学生として留学した場合は学歴欄に記入して下さい。

※ 研究者として留学した場合は職歴欄に記入して下さい。

(3) 研究生、聴講生等も学歴欄に記入して下さい。

(4) 大学院については研究科、専攻、課程（博士前期・後期<修士・博士>）まで記入して下さい。

### 6. 学位

「学位名（修士・博士・専門職）」「取得機関」「取得年月日」を、取得年月日順（過去から現在）に記入して下さい。なお、海外の高等教育機関等で取得した学位については、正式名称を原語のまま記入して下さい。

(1) 学位名の表記については、取得年月日により以下のとおり異なります。

① 1991年6月以前に学位を取得した場合は、『〇〇学修士』『〇〇学博士』と記入して下さい。

【記入例】『法学修士』『政治学博士』

② 1991年7月以降に学位を取得した場合は、『修士(〇〇)』『博士(〇〇)』と記入して下さい。

【記入例】『修士(経済学)』『博士(工学)』

(2) 国内の高等教育機関等で取得した博士の学位については〈課程〉又は〈論文〉のいずれかを記入して下さい。

## 7. 職歴

全ての職歴について、「在職期間(年月)」「勤務先名・所属・職名及び資格等」を、就職年月順(過去から現在)に記入して下さい。

(1) 無職の期間も省略せず、『無職』と記入して下さい。

(2) 大学やその他の学校で講師をしている場合は、専任・兼任もしくは非常勤の別を明記して下さい。

【記入例】『〇〇大学〇〇学部専任講師』『〇〇大学〇〇学部非常勤講師』

(3) 現職については、『XXXX年XX月～現在に至る』と記入して下さい。

(4) 研究者として留学した場合は「職歴」欄に記入して下さい。

(5) 独立行政法人日本学術振興会による特別研究員の採用を受けた場合は、「職歴」欄に記入して下さい。

(6) 過去に、大学設置・学校法人審議会(旧大学設置審議会を含む。)で教員組織審査を受け、判定がある場合は、「職歴」欄に当該審査に係る大学名、審査年月日、専任・兼任の別、職名及び担当授業科目名(大学院にあつては判定結果「〇合・合・可」を含む)を記入して下さい。ただし、学内審査は対象になりません。

## 8. 学会歴・社会歴・受賞歴等

学会活動歴、社会貢献、各種受賞歴などがある場合は記入して下さい。受賞・表彰等については、「受賞年月」「賞の名称」「授賞機関」を記入してください。

## 9. 教歴

大学・短期大学・高等専門学校等における教育歴(非常勤歴を含む)があれば、着任予定時までの合計の年月数を記入して下さい。うち常勤歴について( )内に記載して下さい。

## 10. 免許・資格・その他特記事項

免許・資格等を保有する場合は「取得年月」「資格・免許名称」を記入してください。

## 2. 業績書 (p.5 の記入例もご覧下さい)

### 1. 記入にあたって

- (1) 年の表記は西暦で記入してください。
- (2) 各項目について日本語・外国語に分けて、全て新しい年月順(現在から過去に遡つて)に必要な事項を記入してください。
- (3) 各項目は通し番号(『1』～)を記入してください。
- (4) 記入する事柄がない場合は『該当なし』と記入してください。
- (5) 各ページの下のページ記入欄に該当ページ及び総ページを記入してください。

- (6) 記入スペースが足りない場合や同項目内でページがまたがる場合は、適宜、改行、行の高さの調整等を行ってください。

#### 【現在の主要な研究テーマ】

現在の主要な研究テーマを記入して下さい（複数可）。

#### 【研究業績一覧】

研究業績を次の分類に分け、それぞれ日本語・外国語に分けて、一覧表に件数を記入して下さい。

1. 著書（本学が著書として扱う分類 1）単著、2）共著、3）編著書、4）分担執筆、毎に分けて記載）
2. 学術論文（本学が学術論文として扱う分類 1）審査あり学会等の報文、2）審査なし学会等の報文、3）依頼論文、4）審査あり国際会議論文、5）審査なし国際会議論文、6）紀要、毎に分けて記載。）
3. 研究発表（ 1）研究発表（予稿あり）、2）研究発表（予稿なし）に分けて記載。）
4. 設計作品・計画
5. その他（特許、総説、解説等）

※ 1～5に分類し、内1、2、3については更に1）～4）等に分類した上で、項目ごとに、発行年月が最近のものから降順に記入して下さい。

※ 1. 著書 及び 2. 1) 審査あり学会等の報文については必ず記載して下さい。

※ 2. 2)～5. その他(特許等)は主要なものだけでも構いません。

※ 発行年月等は西暦年とし、月まで記入して下さい。

※ 著書等が単著の場合、執筆者名を記入し下線を付して下さい。

※ 著書等が単著以外の場合、執筆者全員の氏名（多岐にわたる場合には主要な共著者の氏名）を当該著書等に記載された順に記入し、本人の氏名に下線を付して下さい。

※ 原則、発行後のものとしますが、刊行予定のものを含む場合は、掲載確認書、アクセプト証明書等の添付により認める場合があります。著書については、刊行予定のものは含みませんが、「参考」として「5. その他」の次に記入しても構いません。ただし、件数には含めません。

※ 博士論文、修士論文等は、論文数に含めないで下さい。

#### ■ 「著書」について

※ 「著書」とは、学術書あるいは、教科書、入門書のことです。辞典、白書、年鑑等も含めても構いません。

※ 単著、共著、編著書に関しては、表紙或いは奥付に名前が記載されていることが必要です。

※ 「共著」、「編著書」については、「執筆ページ」を記入して下さい。

#### ■ 「学術論文」について

※ 学術論文については、発行元の学会等において「論文」として取り扱われているものとします。

#### ■ 「審査あり学会等の報文」について

※ 「審査あり学会等の報文」とは、発行元の学会等が投稿規程を定めており、編集者ではない査読者が指定され、その審査を経ていることが必要です。

3. 科学研究費助成事業等の外部研究費の取得状況

最近のものから降順に番号を振って、研究期間、研究費名称、「研究課題名」、研究代表者・研究分担者の別、金額（間接費を含む）を記入して下さい。

4. 他研究機関との共同研究の業績等

最近のものから降順に番号を振って、研究機関名称、「研究課題名」、研究代表者・研究分担者の別を記入して下さい。

**3. 今後の研究・教育に対する抱負（A4で1枚程度）**

特に書式はありません。

**4. 研究業績、教育業績、実務経験の概要（A4で1枚程度）**

特に書式はありません。

**5. 所属学会及び社会的活動状況（A4で1枚程度）**

特に書式はありません。

以 上

## 業績書 詳細 記入例

### 【2. 研究業績一覧】

(2) 詳細 (各項目について日本語・外国語に分けて、最近のものから降順に、番号を振って記載して下さい)

#### 1. 著書 [執筆者名：著書名、発刊所、発刊年月、pp.～(単著以外担当頁)、全頁(総頁数).]

##### 1) 単著

###### 【日本語】

(1) 東京太郎：〇〇の原風景、△△出版、2014年4月、全123頁.

###### 【外国語】

なし

##### 2) 共著

###### 【日本語】

(1) 都市次郎・東京太郎・他10名：〇〇の憧憬、△△出版、1996年4月、pp.82～97、全160頁

###### 【外国語】

なし

##### 3) 編著書 なし

##### 4) 分担執筆 なし

#### 2. 学術論文 [執筆者名：題目、発行所、巻数、No、発行(表)年月、pp. ～ ]

##### 1) 審査あり学会等の報文

###### 【日本語】

(1) 都市次郎、東京太郎：〇〇〇について、□□学会、□□論文集、Vol.9、No.5、2013年5月、pp.5～15

(2) 東京太郎・横浜花子：〇〇の要因、□□学会誌、Vol.5、No.7、2012年7月、pp.45～55

###### 【外国語】

なし

##### 2) 審査なし学会等の報文

###### 【日本語】

(1) 東京太郎：〇〇〇の特性、□□学会△△No.150、2005年2月、pp.51～55

###### 【外国語】

なし

##### 3) 依頼論文 なし

##### 4) 審査あり国際会議論文 なし

##### 5) 審査なし国際会議論文 なし

##### 6) 紀要 なし

#### 3. 研究発表

##### 1) 研究発表 (予稿あり) なし

##### 2) 研究発表 (予稿なし) なし

4. 設計作品・計画 なし

5. その他（特許、総説、解説等）

• 特許

【日本語】

(1) 東京太郎・横浜花子：〇〇装置、〇〇及び確認プログラム、特許 5110104 (2013.05.31 公開)

【外国語】

なし

【3. 科学研究費助成事業等の外部研究費の取得状況】

(1) 文部科学省科学研究費基盤研究（C）、課題番号 16K〇〇、「〇〇についての基礎的研究」研究代表者、450 万円

【4. 他研究機関との共同研究の業績等】 なし

以上